

市民フォーラム 2 1 第 9 回環境部会 会議録（概要）

月日 平成 18 年 5 月 10 日（水）

時間 午前 9 時 30 分から

場所 第一庁舎 8 階 第一委員会室

事務局から資料 1・2 に基づき、基本計画たたき台（環境分野）について説明

作業部会長

全体を通した質問や意見はないか。

作業部会長

では私から。現況と課題、図表が空欄になっているが、下の内容が固まった段階で事務局から提案があるということか。

事務局

図表は指標と連動してくる部分であり、指標は 7 月の部会から議論をしていただきたいと考えている。併せて現況と課題についても同様に考えている。

作業部会長

もうひとつ。都市整備部会で取り扱う部分は環境面で載せるべき点を考えていけばよいのか。

事務局

第 9 回の部会では環境と都市整備に同じ内容を示して議論を行っていただく予定である。最終的な決定は総合計画審議会になるため、現段階では環境面から議論いただき、移行する場合には、必要に応じて都市整備部会に環境面からの意見を引き継ぐことになる。

部会員

では、農業や廃屋に対する取組は産業や都市整備分野に任せておけばよいということか。

事務局

空家対策については 3 分野で記載している。1 点目は都市整備分野において、中心市街地の再生という項目の中で「まちなか居住の促進」として主な取組に掲げる予定がある。また、2 点目は産業分野において中山間地域の魅力の向上という項目の中で「空家の活用」として主な取組に掲げる予定がある。最後、3 点目はこの環境分野において快適な住環境の整備に「住宅情報の提供」として主な取組に掲げている。また、農業に関しては産業分野だけでなく、前回の議論をふまえ、身近な自然環境の保全と創造の中に不十分な記述かもしれないが、ひとまず「環境にやさしい農業の促進」として主な取組に掲げている。

部会員

県や国との連携を図っていく必要があると思うが、この点を載せる必要はないのか。また、県や国との関係が載っていないがよいのか。

事務局

連携や協力という点は環境分野だけでなく、教育や福祉分野では一層強いものがあると思う。この視点を自治体の総合計画 基本計画に載せていくというのはあまりにも多くなり、載せ切れるものではないという判断のもとに、事務局では記載する考えはない。

部会員

国の予算にも絡んでくるようなことであるので載せるべきでないか。

専門部会員

国や県の指示に従って公務を行っていくことは当り前のことであり、載せる必要はないと考える。

部会員

ユニバーサルデザインの街づくりの中にある段差解消は県道や国道との絡みや、県や国からの指示ということがあると思うが。

専門部会員

上級官庁の指示に従うことは当然のことであって、載せる必要はないと考える。

部会員

了解した。

部会員

政策・基本施策・施策の体系はよくできている。主な取組をここまでしっかり網羅されてしまうと、長野らしさを入れづらくなってしまう。私は枠組みについては、これでよいと思う。

事務局

事務局内部でもう少し長野らしさを表現したらどうかという意見がある。主な取組の内容については皆さんのご意見を伺いながら検討していきたい。

部会員

ここまで基本施策・施策・方針・目標をきっちり書かれていると、あとは主な取組だけの修正になってしまう。しかし、主な取組を少し変えるとその上の目標を修正する必要が出てくるし、さらには方針も変えるようなことになるのではないか。それから、他分野との調整を図る必要がある点の修正の仕方や微妙は言い回しの修正についてはどうしたらよいのか。

事務局

もっとものご意見である。しかし、目標や方針の後段に書かれている目指すべき姿や状態は別として、前段の手段についてはこれからの議論を踏まえて修正したい。

部会員

これから議論を進めていくと、やはり他分野との調整が必要になってくる部分が出てくると思う。特にここということはないが。

作業部会長

環境分野の話しというのは様々なところに絡み合ってくる人が多いので、仮に漏れている点を追加しようとした場合に、ここまでしっかり体系ができていると入れる場所に困る。そのへんは柔軟に対応していただきたい。

部会員

大変、整理されているので、取組を追加・修正する場合は目標を考慮して場所を選んでいけばよいと思う。基本施策「生活環境の保全」の方針の後段は、施策「公害防止対策の充実」の目標の後段のほうがふさわしいのではないか。

事務局

修正したい。

部会員

体系的に見やすく、よいと思う。実施計画レベルの細かな話したが、多くの施策に「情報の提供」や「PR」という取組が書かれているので、一括してどこかの部署で情報提供すべきでないか。

事務局

施策ごとに主担当を記載しているが、実際には主な取組の中に主担当以外の部署が行っているものがある。事務局内部において、各取組の文末に担当所属名を記載することを検討しているところである。また、一括した情報の提供ということでは庁内組織のことに関わるため、持ち帰り検討したい。

作業部会長

では、次に個別の施策についてご意見を伺いたい。施策「良好な景観の誘導」についてどうか。

部会員

主な取組の2つ目に「表彰やフォーラムの開催」とあるが、優れた景観に寄与している建造物だけでなく、環境によいことをしているところを表彰したらどうか。

専門部会員

現在、総合計画と同時進行で景観計画を策定している。環境にも配慮している優れた建築物も表彰している。今年度で19回目を迎えるが、景観審議会では選考基準を変える必要があるといった意見もある。

部会員

景観計画を策定しているということであったが、総合計画 基本計画との整合が心配だ。主な取組の記載でも、景観計画では違う書き方をしていたりすることはないのか。

専門部会員

このたたき台で整合は図られていると考える。

部会員

主な取組の4つ目の「山や河川等も景観資源として捉え、自然環境に調和した」という部分と「地域ごとの特色をいかした景観の誘導」が続かないような気がする。人工物だけの場所もある。

専門部会員

特に施策として具体的にどうのということはないが、今回の合併に当たり、鬼無里や戸隠の恵まれた自然環境との調和を意識したものである。

作業部会長

では、この取組は人工物を意識したものではないということか。

専門部会員

そのとおりである。具体的には看板が自然景観の中にあっては、あまりよろしくないというようなことである。

部会員

この取組がおかしいということではなく、都市景観の創造というような部分を追加したらどうかということ。

事務局

創造という点は、施策「伝統的な景観の保全と形成」で取り上げていると考える。また、2つの施策に分けているので、大局的にご議論いただければありがたい。

作業部会長

次に施策「伝統的な景観の保全と形成」についてはどうか。

部会員

ここでは、伝統的な景観のことに触れているのであり、新しい街づくりの中での景観ではないような気がする。

作業部会長

「伝統的な景観の保全と形成」の形成の部分の取組が薄い気はする。それから、主な取組の2つ目に「・・・創造していくために・・・」とあるので、この文章を修正すべきでないか。

専門部会員

再開発や土地区画整理を考えると、理解できるご意見である。今のご意見は施策「良好な景観の誘導」の3つ目の主な取組にあるように、意識していただき実践をしていただきたい部分になる。

作業部会長

今の意見を踏まえて修正してほしい。

部会員

既に多くのところで、市民活動による景観の維持・保全・整備が行われており、このような視点は盛り込まなくてよい。それと3つ目の主な取組の「景観形成市民団体の認定と活動支援」の関係はどうなっているのか。

専門部会員

景観形成市民団体については6団体を認定し、補助しており、具体的には三本柳、飯綱西区や善光寺下の大門蔵部等がある。

作業部会長

長野大通り沿いで景観協定を締結しているのは景観形成市民団体か。

専門部会員

第1号の認定団体である。

部会員

景観協定を締結しようとしている団体と支援するということになると、施策タイトル「伝統的な景観の保全と形成」に違和感がある。「伝統的な景観の保全と良好な景観の形成」としたらよいのではないか。

事務局

施策タイトルと内容のつじつまが合っていないようなので、もう一度タイトルと主な取組を整理の上、修正したい。

部会員

施策「良好な景観の誘導」を「良好な景観の誘導と形成」とすれば、景観の創造という部分にもつながっていくのではないか。

作業部会長

今の意見を踏まえて修正してほしい。他にはないか。

部会員

長野においては、伝統的な景観の保全は欠かせないポイントであると思う。

作業部会長

では次に、施策「豊かな緑化空間の充実」についてどうか。

作業部会長

私から1点。ヒートアイランド対策について、緑化空間の充実の中で入れたらよいのかわからないが、どこかに盛り込んでほしい。

専門部会員

主な取組「一定要件の工場や事業所等の緑化の促進」の中で屋上緑化や壁面緑化という取組を具体的には含んでおり、この部分がヒートアイランド対策になるものとする。

作業部会員

ヒートアイランドという言葉は入れにくいものなのか。

専門部会員

主な取組「都市環境の改善にも役立つ市街地緑化の推進」という部分で包含しているとする。

専門部会員

主な取組「都市環境の改善にも役立つ市街地緑化の推進」の中にヒートアイランドを入れたらよいとする。

部会員

せっかく育った街路樹が住民に切られたという新聞記事を見た。主な取組「地域住民と連携を図った・・・」の記載をもう少し積極的に、指導という点で記載できないか。

専門部会員

街路樹に関するご意見であると思うが、街路樹の性質から考えると、やはり交通の安全が第一となるため、剪定が大切になる。落ち葉の清掃が面倒等という意見があるが、病気や歳月によって危険が及ぶ場合は別として、可能な限り街路樹は切らずに保存したい考えである。併せて、地域の皆さんにも維持管理いただくことを目的に街路樹愛護会を立ち上げていただいている。

専門部会員

街路樹の維持に関する補足であるが、これからは地域の皆さんと協力してやっていかなければならないという考えであり、現在市には11団体、県にも3団体ある。

部会員

主な取組「地域住民と連携を図った公園、緑地、街路樹等の維持管理」というのは必要であると思うが、これはあくまで、今既にある公園、緑地、街路樹の維持管理であり、これから創り出すことや広い意味での緑化の視点が必要であると感じる。これとは別に地域住民一体となった緑化の推進という視点を入れるべきである。

作業部会長

言葉の追加・修正でなんとかなりそうだが。

部会員

1つ目の主な取組に「表彰等による・・・緑化意識の高揚」とあるからよいのではないか。

専門部会員

維持管理については公園愛護会や街路樹愛護会によって地域の皆さんとやっている。また、公園の整備については計画段階から、地域の皆さんにご意見を伺いながら、いっしょになって造っている。

事務局

緑化の推進とは記載していないが、主な取組「市民の積極的な参画のもとでの・・・公園の整備」として盛り込んでいる。

部会員

街中の緑化はポケットパークどころでなくボタンホールくらいのものが必要であり、緑化の推進とすれば含められると考えた。

作業部会長

項目を増やさなくても、言葉の修正で大丈夫のような気がする。

部会員

公園は確かに行政が整備してきたものであるが、中山間地域の中にはまちおこし的に住民が公園を整備するようなこともあるので、これは大事なことである。地域住民による緑化を励ますという視点が必要でないか。

部会員

指標項目はこれからの議論になるところだが、おそらくここは、市民一人当たりの緑地面積で国の基準に照らし、上か下かというようなことになる気がしている。しかし、やはり中心市街地に緑が少ないというのは現在も30年前も変わっていない。壁面緑化・屋上緑化・ポケットパーク・市民協働も決して悪くないが、市街地に神宮外苑のような100年の森を造るくらいのプランやコンセプトを持ってもらいたい。この施策を見ると総合計画のレベルなのに、この程度でよいか疑問を感じる。

専門部会員

公園緑地課で緑を豊かにする計画という個別計画を持っているが、市街地だけでなく人口集中面積に公園はどのくらい必要か決めている。また、公共施設等は可能な限り緑地にするように努力しているところである。もちろん市街地の緑化も考えているが、大きな公園となかなか整備できてない状況にはある。しかし、全体としてはそういう計画で緑化の推進を進めている。

部会員

そのような計画で進めていることは評価できるが、中心市街地に大きな公園をとというようなコンセプトを持ってもらいたいということ。実際できるかどうかは別として、本当に魅力あるまちにしようとするのであれば必要でないか。

作業部会長

ここは少し整理する必要がある。また修正してほしい。主な取組の最後に「災害発生を考慮した公園の整備」とあるが、これは防災分野にも掲げる必要があるので、調整してほしい。では次に、施策「潤いある親水空間の創造」はどうか。

作業部会長

では私からひとつ。河川と用水の違いについて教えてほしい。

専門部会員

河川は山から流れてくるのも。用水路は山から流れてくるのもや千曲川から人工的に分水してかんがい用に引いてきたもの。長野市の平地については大半が用水路であり、人工的なもの。中山間地域では逆に河川が多いといった状況である。つまり、市街地において親水性に配慮したものに整備しようとした場合には、用水路の整備ということになる。

作業部会長

一般の市民は河川と水路を区別して認識しているとは思えないので、主な取組「河川や水路を自然環境や・・・」の表現を工夫する必要がある。

部会員

確かに一般市民にはそういった認識はない。

専門部会員

管理者が異なる状況もある。

部会員

このままでもよいのではないか。

部会員

休耕田に水を張ってビオトープのようにする取組はどうか。

作業部会長

裏付けがないようなものやアイデアだけではどうかと思う。少し細かな話しのようを感じる。

部会員

ここに載せるかどうかは別にして、希少動物のことを考えても環境的にはおもしろい取組である。

部会員

河川や水路にこだわらずに、「河川や水路等を自然環境や・・・」にしたら解決できる。

作業部会長

水がある空間を親水性に配慮してもらえばよいので、表現は事務局に任せる。時間が少なくなっただけ、続きは次回としてここまでとしたい。

事務局から資料1・2に基づき、基本計画たたき台（行財政分野）について説明

作業部会長

時間がないため、行財政分野と環境分野についても、事務局からの提案どおり意見があれば、EメールかFAXでお願いしたい。以上で終了とする。